



Francouzský film R.Bressona podle stejnojmenné literární předlohy F. M. Dostojevského

NONO
THE
REF
OF
RY
P
THE
REF
OF
RY
P
THE
REF
OF
RY
P

チェコの映画ポスター展 関連講演会

チェコ・ヌーヴェル・ヴァーグの時代

ベトル・ホリー氏 (チェコセンター前所長)

日時 | 2013年4月26日|土|17:00-18:30

会場 | 京都国立近代美術館1階講堂

定員 | 100名

*聴講無料, 当日午後1時30分から
講堂入口にて整理券を配布します

【やましい女】
映画 | 1969年 / フランス / ロベール・ブレッソン監督
ポスター | 1970年 / オルガ・ボラー・チコヴァー=ヴィンチャロヴァー

04 | 26
27

チェコ映画への誘い

チェコの映画ポスター展に関連して

2014年04月26日|土|, 27日|日|

「チェコの映画ポスター」展の関連企画として、60—70年代のチェコ映画3本を上映する。「人間の顔をした社会主義」の実践として民主化・自由化政策が進められた「プラハの春」(1968)は、ソ連軍が率いるワルシャワ条約機構軍の軍事介入により、終焉を余儀なくされる。ここでは、「プラハの春」の最中の1本と、それ以前、以後の代表的作品を1本ずつ配して、激動の時代のチェコ映画の流れを辿る。あわせて、ベトル・ホリー氏 (チェコセンター前所長) による講演会「チェコ・ヌーヴェル・ヴァーグの時代」を開催する。

26日|土| 14:00-16:42

マルケーター・ラザロヴァー

162分 | 35mm | 白黒 | 日本語字幕
'67(チェコスロヴァキア) 監・脚 | フランチシエク・ヴラネーチル
原 | ヴラチスラフ・ヴァンチュラ 脚 | フランチシエク・パヴリー
チュク 脚 | ベドジフ・バトカ 音 | スデニェク・リシユカ
出 | グダ・ヴァンチャリオヴァー, フランチシエク・ヴェレツキー,
ヨセフ・ケムル, ミハル・コジユフ, ナジャ・ヘイナー, パヴラ・ボ
ラーシュコヴァー フィルム提供・協力 | チェコセンター

暴行と強奪を繰り返す盗賊騎士団の首領の息子ミコラシユ。敵対するグループの首領の娘マルケーターは自らを犯したミコラシユを愛してしまう。倫理なき争いと篡奪に満たされた中世を舞台に、キリスト教と異教の対立を交錯させつつ、二人の呪われた恋を描き出した、チェコ映画史上の傑作として名高い歴史大作。



マルケーター・ラザロヴァー ©NÁRODNÍ FIMOVÝ ARCHIV



受難のジョーク

27日|日| 14:00-15:29

抵抗のプラハ

89分 | 35mm | カラー | 日本語字幕
'71(チェコスロヴァキア) 監 | ウラジミール・チュエフ
脚 | カミール・ピクサ 脚 | ヴァーツラフ・フニユカ
音 | シュテパーン・ルツキー
出 | フランティシエク・ヴィツェナ,
ヴィルヘルム・コッホフーグ, ギュンター・フレリプ,
グラスタ・ヴラスコヴァ, ザネック・ケンブ

1938年, 独英伊の大国間の妥協によってミュンヘン協定が締結された。翌年のドイツ軍のズデーテン地方侵攻, チェコスロヴァキア占領にともない地下に追いこまれるチェコ共産党。その徹底した弾圧に対する抵抗活動のなかで、逮捕される中央委員ヤン。同志たちは彼の素性をあかさぬまま次々と処刑されていく。



抵抗のプラハ

27日|日| 15:50-17:11

受難のジョーク

81分 | 35mm | 白黒 | 日本語字幕
'68(チェコスロヴァキア) 監・脚 | ヤロミル・イレシュ
原・脚 | ミラン・クンデラ
脚 | ヤン・チュリク 音 | スデニェク・ボロラニク
出 | ヨゼフ・ソムル, ヤナ・デテトヴァー, ルジエク・ムンゼル,
エヴァルト・シヨルム

共産主義を揶揄する“冗談”の葉書を恋人に送った廉で、共産党と大学から追放された青年が、彼の告発者の妻を誘惑し、復讐を果たそうとする。国立芸術アカデミーで映画を学んだミラン・クンデラの初長篇小説にして、国際的な出世作となった『冗談』を原作に、「プラハの春」の最中に公開され、大ヒットを記録した。

06 | 14
15

白黒の美学 | 日本の撮影監督

2014年06月14日|土|, 15日|日|

『めし』(1951)以降の成瀬巳喜男作品や『ゴジラ』(1954)など、戦後の東宝で、映画史に残る大きな足跡を残した玉井正夫(1908-1997)。鈴木清順、野口博志などとの仕事で、54年に製作再開した新生日活のアクション映画を牽引した永塚一栄(1906-1982)。吉田喜重、大島渚、篠田正浩といった松竹ヌーヴェル・ヴァーグの監督たちを支え、自らも監督になった成島東一郎(1925-1993)。そして、市川崑、増村保造の緊密な画面づくりに貢献し、大映東京の名作に数多く関わった小林節雄



驟雨

(1920-2006)。この企画では、黄金期のメジャー各社から、日本を代表する撮影監督4人を取り上げ、戦前からのキャリアを持つ玉井、永塚による、50年代の白黒スタンダード作品、戦後にデビューした成島、小林による、60年代の白黒シネマスコープ作品を各日に配して上映する。巧みな構図と白黒画面の肌理を、美しい35mmプリントで存分に堪能いただきたい。

14日|土| 14:00-15:30

驟雨

90分 | 35mm | 白黒
'56(東宝) 脚 | 玉井正夫 監 | 成瀬巳喜男 原 | 岸田國士
脚 | 水木洋子 美 | 中吉智 音 | 齊藤一郎
出 | 原節子, 佐野周二, 香川京子, 根岸明美, 小林桂樹,
中北千枝子, 東郷晴子, 長岡輝子, 加東大介

東京西部の新興住宅地を舞台に、面倒な近所づきあいの中で、生活に倦み始めた夫婦のすれ違う心情を浮かび上がらせた1956年の正月映画。脚本は岸田國士の数篇の一幕戯曲を水木洋子がまとめたもので、題名の通り、成瀬映画が好んだ雨も効果的に使われる。

15日|日| 14:00-15:49

嵐を呼ぶ十八人

109分 | 35mm | 白黒
'63(松竹京都) 脚 | 成島東一郎 監・脚 | 吉田喜重
原 | 菅川敏夫 美 | 大角純一 音 | 林光
出 | 早川保, 香山美子, 芦屋雁之助, 浪花千栄子,
根岸明美, 三原葉子, 浦辺条子, 殿山泰司, 平尾昌幸

瀬戸内海の巨大な造船所に社外工として雇われてきた、若いならず者たちの集団。題材は会社の提案によるものだったが、社会の底辺に不条理に生きる労働者たちの存在が、従来の「社会派映画」への批判をこめて描かれている。十八人の青年は一般からオーディションで選ばれた。

14日|土| 15:50-17:30

十七才の抵抗

100分 | 35mm | 白黒
'57(日活) 脚 | 永塚一栄 監 | 井上梅次 原 | 戸田昭子
脚 | 池田一朗 美 | 中村公彦 音 | 大森盛太郎
出 | 浅丘ルリ子, 津川雅彦, 長門裕之, 轟夕起子,
廣岡三葉子, 小林重四郎, 白木マリ, 瀬川路三郎,
永井柳三, 安部敬, 冬木京三

旅芝居の座主の娘である女子高校生が、複雑な家族環境や恋の芽ばえに悩みながら成長する様を描いた青春映画。若き浅丘ルリ子が明るい初夏の光の中でみずみずしい存在感を放つ。また、主人公が思いを寄せる男子学生には津川雅彦が扮した。

15日|日| 16:10-17:43

黒の超特急

93分 | 35mm | 白黒
'64(大映東京) 脚 | 小林節雄 監・脚 | 増村保造
原 | 橋山季之 脚 | 白坂依志夫
美 | 下河原友雄 音 | 山内正
出 | 田宮二郎, 藤由紀子, 船越英二, 加東大介, 石黒達也,
町田博子, 穂高のり子, 大西森子, 三島愛子, 早川雄三

岡山の土地買収を巡る政財官の癒着を描いたサスペンス。開発業者に安く土地を買い占められた地元若き不動産業者が、その土地が新幹線敷設予定地であったことを知り、取引に潜んだ黒い策謀を暴いていく。シネマスコープの構図を巧みに活かした演出が特筆される。

NFC所蔵作品選集

MOMAK

2014.04 — 06